

法政大学大学院

人間社会研究科

Hosei University Graduate School
Social Well-being Studies

修士課程
福祉社会
専攻

修士課程
臨床心理学
専攻

公認心理師(国家資格)受験資格取得
に要する科目を開講
(財)日本臨床心理士資格認定協会
第1種指定大学院

博士後期課程
人間福祉
専攻

法政大学
2027



佐藤 蘭美 教授 (さとう やまゆみ)

福祉社会 人間福祉

研究領域: ソーシャルワーク論(特に緩和ケアを中心として)当事者および家族への支援(セルフヘルプ・グループを中心として)
主な担当科目: 「ソーシャルワーク特論Ⅰ」、「ソーシャルワーク・スーパービジョン」福祉臨床系特殊講義Ⅰ・Ⅱ
主な著書: 「新版 高齢者の財産管理の実務」(共著、新日本法規出版)、「自閉症の人の死別経験とソーシャルワーク」(単著、明石書店)、「知的障害者の生活支援」(共著、日本知的障害福祉協会)、「自閉症と発達障害研究の進歩2006 Vol.10」(共著、星和書店)
学会活動: 日本社会福祉学会会員、日本ソーシャルワーク学会会員、日本臨床死生学会会員、日本死の臨床研究会会員



眞保 智子 教授 (しんぼ さとこ)

福祉社会 人間福祉

研究領域: 障害者福祉、若者支援、就労支援、障害者雇用、障害者のキャリアデザイン
主な担当科目: 「精神保健福祉特論」「障害者福祉特論」「福祉社会系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
主な著書: 「就労支援サービス」(共著、株式会社みらい)、「精神障害・発達障害のある方とともに働くためのQ&A50～採用から定着まで」(編著、日本加除出版)、「訂改版障害者雇用の実務と就労支援「合理的配慮」のアプローチ」(単著、株式会社日本法令)
学会活動: 日本労働学会、日本職業リハビリテーション学会、日本うつ病学会、日本キャリアデザイン学会、日本社会福祉学会



杉浦 ちなみ 専任講師 (すぎうらちなみ)

福祉社会

研究領域: 社会教育学、地域文化論
主な担当科目: 「地域文化と教育特論」「地域共生社会特論」
主な著書: 「地域文化の再創造 暮らしのなかの表現空間」(共著、水曜社)、「地域に根ざす民衆文化の創造—「常民大学」の総合的研究」(共著、藤原書店)、「成人教育と文化の発展」(共訳、東洋館出版)
学会活動: 日本教育学会、日本社会教育学会、教育史学会、日本社会学会、日本民俗学会、日本文化政策学会



高取 康之 教授 (たかとり やすゆき)

福祉社会

研究領域: 異文化コミュニケーション、英語教育、経営学(マーケティング)
主な担当科目: 「実用英語講読」
主な著書: 「日本実用英語検定3級対応リスニング・テープ」(単著、旺文社1997年)
学会活動: 英米文化学会、法政大学英文学会



丹羽 郁夫 教授 (にわいくお)

臨床心理学 人間福祉

研究領域: 臨床心理学、コミュニティ心理学、子どもの心理療法
主な担当科目: 「心理臨床演習」「臨床心理系(心理・地域)特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
主な著書: 「コンサルテーションとコラボレーション」(共著、金子書房)、「コミュニティ心理学ハンドブック」(共著、東京大学出版)、「コミュニティ心理学入門」(共著、ナカニシヤ出版)、「移住と適応—中国帰国者の適応過程と援助体制に関する研究」(共著、日本評論社)、「心理学的支援法」(共著、北大路書房)、「ワードマップコミュニティ心理学—実践研究のための方法論」(共著、新報社)
学会活動: 日本心理臨床学会、日本コミュニティ心理学会(理事、編集委員)、日本遊戯療法学会、日本学生相談学会、日本社会心理学会、日本心理学会



水野 雅男 教授 (みずの まさお)

福祉社会 人間福祉

研究領域: 都市住宅政策論、市民活動運営論
主な担当科目: 「住宅政策特論」「地域共生社会特論」「地域・文化系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
主な著書: 「地方都市の再生戦略」(川上光彦編共著、学芸出版社)2013年、「生活景」(日本建築学会編共著、学芸出版社)2009年、「農山漁村における都市内企業労働者のメンタルヘルス・プログラムの構築と評価手法の実証的な研究」(農林水産政策研究所レビュー第55号)2013年
学会活動: 日本建築学会、日本都市計画学会、地域安全学会



望月 聡 教授 (もちづき さとし)

臨床心理学 人間福祉

研究領域: 神経心理学、認知行動心理学
主な担当科目: 「認知心理学特論」「教育心理学特論」「臨床心理学(病理・発達)特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
主な著書: 「臨床心理学研究特論(18)」(共編著、放送大学教育振興会)、「スタンダード臨床心理学」(分担執筆、サイエンス社)、「高次脳機能障害Q&A症候編」(分担執筆、新興医学出版社)、「心理学の「現在」がわかるブックガイド」(共著、実務教育出版)
学会活動: 神経心理学会(評議員)、高次脳機能学会(代議員)、心理学会、心理臨床学会、パーソナリティ心理学会、感情心理学会(編集委員)



渡辺 寛人 専任講師 (わたなべひろと)

福祉社会

研究領域: 貧困研究、公的扶助、社会政策
主な担当科目: 「ソーシャルポリシー特論」「地域共生社会特論」
主な著書: 「聞わなければ社会は壊れる」(共著、岩波書店)、「断絶の都市センダイ」(共著、朝日新聞出版)
学会活動: 貧困研究会、社会政策学会、経済理論学会



佐野 竜平 教授 (さのりゅうへい)

福祉社会 人間福祉

研究領域: アジアの障害インクルーシブな国際協力・開発
主な担当科目: 「障害と特論」「地域・政策系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
主な著書: 「Current Status and Issues of Healthcare Policies for Persons with Developmental Disorders in Southeast Asia」(共著、Economic Research Institute for ASEAN and East Asia)、「Development of a Coaching-based Guidebook to Enhance the Quality of Life of Parents of Persons with Developmental Disorders in Southeast Asia」(共著、Economic Research Institute for ASEAN and East Asia)、「人馬のウェルビーイング」(編著、クワイエットがもか)等
学会活動: Workability Japan、Strengthening Human Rights and Peace Research and Education in ASEAN/Southeast Asia 等



末武 康弘 教授 (すえたけやすひろ)

臨床心理学 人間福祉

研究領域: 臨床心理学、心理学的支援法、カウンセリング・心理療法
主な担当科目: 「臨床心理面接特論Ⅰ(心理支援に関する理論と実践)」「臨床心理面接特論Ⅱ」「臨床心理系(心理・地域)特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
主な著書: 「ロジャース主要著作集(全3巻)」(共訳、岩崎学術出版社)、「エビデンスにもとづくカウンセリング効果の研究」(共監訳、岩崎学術出版社)、「心理臨床への多面的アプローチ」(共監訳、岩崎学術出版社)、「ジェンドリン哲学入門」(共編著、コスモスライブラリー)、「主観性を科学化する」(共訳、研究社)、「主観性研究法入門」(共編著、金子書房)、「心理学的支援法」(誠信書房)「プロセスモデル」(共訳、みすず書房)
学会活動: 日本心理臨床学会、日本人間性心理学会、日本心理学会、World Association for Person-Centered and Experiential Psychotherapy and Counseling



関司 直也 教授 (ずしなおよ)

福祉社会 人間福祉

研究領域: 農業経済学、農山村政策論、地域資源管理論
主な担当科目: 「内発的農村発展特論」「地域共生社会特論」「地域・政策系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
主な著書: 「農村発イノベーションを現場から読み解く」(筑波書房)、「新しい地域をつくる」(共著、岩波書店)、「就村からなりわい発展へ」(筑波書房)、「プロセス重視の地方創生」(共著、筑波書房)「内発的農村発展論」(共著、農林統計出版)
学会活動: 日本農業経済学会、農業問題研究学会、農村計画学会、日本村落研究学会



土肥 将敦 教授 (どいまさあつ)

福祉社会 人間福祉

研究領域: ソーシャル・イノベーション、社会的企業家、CSR、企業と社会
主な担当科目: 「ソーシャル・イノベーション特論」「福祉社会研究法Ⅰ」「地域・政策系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
主な著書: 「ソーシャル・イノベーションの創出と普及」(共著、NTT出版)2013年、「ソーシャル・エンタープライズ論」(共著、有斐閣)2014年、「ソーシャル・エンタープライズ: 社会的企業の台頭」(共著、中央経済社)2006年、「CSR経営: 企業の社会的責任とステイクホルダー」(共著、中央経済社)2006年
学会活動: 組織学会、日本経営学会、社会・経済システム学会、企業と社会フォーラム(Japan Forum of Business and Society)



野田 岳仁 教授 (のだたけひと)

福祉社会 人間福祉

研究領域: 環境社会学、地域社会学、観光社会学
主な担当科目: 「環境社会学特論」「福祉社会研究法Ⅰ」「地域・文化系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
主な著書: 「井戸端からはじまる地域再生」(単著、筑波書房)「Everyday Life-Environmentalism」(共著、Routeledge)、「生活環境主義のコミュニティ分析」(共著、ミネルヴァ書房)、「原発災害と地元コミュニティ」(共著、東信堂)、「Rebuilding Fukushima」(共著、Routeledge)「環境社会学の考え方」(共著、ミネルヴァ書房)
学会活動: 日本社会学会、環境社会学会、日本村落研究学会、水資源・環境学会(理事)



宮城 孝 教授 (みやしろ たかし)

福祉社会 人間福祉

研究領域: 地域包括ケアシステム、コミュニティソーシャルワーク、地域福祉計画などの地域福祉方法論
主な担当科目: 「地域福祉特論」「地域共生社会特論」「福祉・臨床系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
主な著書: 「イギリスの社会福祉とボランティアセンター」(単著、中央法規)、「コミュニティソーシャルワーク」(編著、有斐閣)「新設地域福祉事業」(編著、中央法規)、「地域福祉と民間非営利セクター」(編著、中央法規)、「ソーシャルワークと社会開発—開発的ソーシャルワークの理論とスキル」(監訳、丸善出版)、「東日本大震災と地域福祉—次代への継承を探る」(編著、中央法規)、「地域福祉のイノベーション—コミュニティの持続可能性の危機に次ぐ」(編著、中央法規)、「地域福祉とフレンドリーな地域づくり」(編著、中央法規)、「コミュニティソーシャルワークの新たな展開—理論と先進事例」(編著、中央法規)、「仮設住宅の10年—避難前田における被災者の暮らし」(編著、御茶の水書房)、「住民力—超高齢社会を生かす地域のチカラ」(単著、明石書店)
学会活動: 日本地域福祉学会、日本社会福祉学会等



山本 五郎 教授 (やまもとごろう)

福祉社会

研究領域: コーパス言語学、英語学、辞書学、英語教授法(TESOL)
主な担当科目: 「学術英語」
主な著書: 「ワイルダム英和辞典第4版」(共著、三省堂)「Work-Life Balance Essential Insights and Practices」(共著、松柏社)、「Well-being Essential Elements for Our Life」(共著、松柏社)、「SDGs and Challenges We Face/映像メディアで考えるSDGs」(共著、松柏社)、「SDGs and Global Issues/映像メディアで学ぶSDGs」(共著、松柏社)
学会活動: 日本国際教育学会、日本メディア英語学会、大学英語教育学会、映像メディア英語教育学会

福祉社会専攻担当

福祉社会

臨床心理学専攻担当

臨床心理学

人間福祉専攻担当

人間福祉

※1 2025年度以降に修士課程で「論文指導」を希望する場合、地域創造インスティテュート(学位「学術」)に出願してください。
※ 年度によって開講されない科目があります。

福祉社会専攻

修士課程

Major in Social Policy and Community Development

本専攻では、一人ひとりの Well-being の実現を支援することができる、高度専門職業人（ソーシャルワーカー、ケアマネジャー、政策立案者、自治体職員等）と研究者の養成をめざします。カリキュラムは、専攻の基礎となる「専門共通科目」、ソーシャルワーク系、システム・マネジメント系、コミュニティ・デザイン系、研究基盤の4つの系からなる「専門展開科目」、修士論文の指導やフィールドワークを通して研究指導を行う「演習科目」によって構成されています。

≫ カリキュラム・ツリー（一部抜粋）

専門共通科目（4単位以上を選択）

福祉社会研究に共通する研究方法を学ぶ

福祉社会研究法Ⅰ
福祉社会研究法Ⅱ
地域共生社会特論
社会福祉学特論

※各科目すべて2単位

専門展開科目（14単位以上を選択）

現代の福祉社会の形成に関わる最先端の課題と理論を学ぶ

【ソーシャルワーク系】 ソーシャルワーク理論研究特論 ソーシャルワーク実践研究特論 生活問題特論	【コミュニティ・デザイン系】 内発的農村発展特論 地域文化と教育特論 環境社会学特論
【システム・マネジメント系】 ソーシャルポリシー特論 保健医療福祉システム特論 福祉経営特論	【研究基盤】 実用英語講読 学術英語 データ分析法

※各科目すべて2単位

演習科目（すべて必修12単位）

個々の研究課題に沿って、修士論文に収めるよう個別指導を行う

論文研究演習Ⅰ④
論文研究演習Ⅱ④
実践研究演習Ⅰ②
実践研究演習Ⅱ②

※○数字は単位数

多様な学びの内容と機会が増えました

社会人学生が自らの実践現場を活かした学びを展開できるように、科目についての内容を見直し、また対面とオンライン併用のハイフレックスによる科目も増えました。さらに、市ヶ谷キャンパスにおける科目展開や長期履修制度を導入するなど、社会人の方にも学びやすい環境・制度を整えていますので、ご自身のライフスタイルに合わせて仕事をつづけながら研究活動に取り組むことができます。

≫ 修了生の研究テーマ（抜粋）

- 施設処遇における子どもの権利擁護 —児童養護施設職員調査からの一考察—
- 学校と子どもの居場所の協働を推進するスクールソーシャルワーカーの実践
- 女性障害者のライフコースと主体性に関する研究
- 視覚障害者ホワイトカラーにおける職務探索と職務調整による合理的配慮
- 地域包括ケアシステムの構築に向けた多職種多機関におけるICTを活用した情報共有システムの有効性と課題 —ケアマネジャーへのインタビュー調査を通して—
- 重層的支援体制整備事業を活用した包括的な支援体制の整備の意義と課題 —東京圏4自治体の整備状況の比較からの一考察—
- 生活困窮者自立支援制度の意義と課題 —コロナ禍の変化に着目して
- 中国残留孤児の介護コミュニティ（デイサービス）による新たなエスニック・アイデンティティ獲得の可能性

Message



▶ 教員

佐藤 繭美 教授

研究領域：グリーンケア、死別ケア、セルフヘルプグループ、自閉症者と家族支援

私が研究者になったのは、卒論調査でお会いした障がいのある方のご家族の言葉がきっかけです。「この子を遺して死ぬことができません」といわれたことは今でも鮮明に覚えています。安心して死ぬことができない、とはどういうことなのか。その言葉を紐解くべく、研究を重ねてきました。今でも当事者の方たちに教わり、日々学びの途上です。私のゼミでは、中国からの留学生、社会人の院生などが在籍しています。院生はたくさんフィールドに出ていくなかで、論文執筆を進めています。ぜひ、ご自身の人生に大学院生生活という一歩を加えてみるのはいかがでしょうか。



▶ 在学生

飯田 梓 さん

2024年度入学

私は、障害者の就労支援現場における職員の離職についての疑問がきっかけとなり入学しました。本専攻では、少人数で展開される授業が多いので常にコミュニケーションをとりあいながら自身の興味関心について深めていくことができますし、各分野に精通された先生方や世代・国籍・フィールドも異なる多種多様な学生との議論は自分の視野を大きく広げてくれます。実践現場に既に立たれている人にとっては、研究だけでなく実践にダイレクトに還元されていく面白さも感じることができると思います。ぜひ、皆さんと本専攻で共に学べることを楽しみにしております。



▶ 修了生

山崎 禎広 さん

2020年度修了

法政大学現代福祉学部 助教

私は元々地方自治体に勤めておりましたが、高齢者支援についてより深く学び研究したいと考え、2019年に本研究科に入学しました。在学中には、高齢者における人生の最終期の支援に関するテーマで修士論文を執筆し、現在は大学で教員をしています。本専攻は、社会福祉領域はもちろんのこと、地域づくりや国際協力など幅広い研究の領域を持つ教授が所属しており、多様な視点から研究を深めることができます。また、学生の研究テーマも多様であり、学生間でも充実した議論ができることも魅力です。少しでも興味がある方は、ぜひ本専攻の門を叩いてみてください。

臨床心理学専攻

Major in Clinical Psychology

修士課程

公認心理師(国家資格)受験資格取得に要する科目を開講
(財)日本臨床心理士資格認定協会第1種指定大学院

近年頻発する児童や青年の事件で繰り返し指摘されるように、心のケアは社会全体において緊急の課題となっています。本専攻ではこうした社会的ニーズに応え、心のケアの専門家としての公認心理師と臨床心理士を養成します。また、心のケアは単に教育の領域にとどまらず、医療や福祉、司法・矯正、企業のメンタルヘルス、さらにはコミュニティの再生・創造の問題とも密接に関わっており、このような臨床心理学へのニーズの多様化・高度化に対応した高度職業人と研究者の養成をめざします。カリキュラムは、臨床心理学を学ぶための基幹を修得する「専門基幹科目」、それらをより深く展開するための科目と各論的に幅を広げる科目からなる「専門展開科目」、修士論文の指導を行う「研究指導科目」によって構成されています。

≫ カリキュラム・ツリー (一部抜粋)

専門基幹科目 (全て必修16単位)

臨床心理学全般の学習、カウンセリングや種々の臨床心理学査定法等について学ぶ

- 臨床心理基礎実習②
- 臨床心理学特論Ⅰ②
- 臨床心理学特論Ⅱ②
- 臨床心理面接特論Ⅰ
(心理支援に関する理論と実践)②
- 臨床心理面接特論Ⅱ②
- 臨床心理査定演習Ⅰ
(心理的アセスメントに関する理論と実践)②
- 臨床心理査定演習Ⅱ②
- 臨床心理実習Ⅰ(心理実践実習)①
- 臨床心理実習Ⅱ①

※○数字は単位数

臨床心理相談室

来談者の受面接、心理査定、心理面接を行う

専門展開科目 (14単位以上を選択)

専門基幹科目の学習と臨床心理実習をより深く展開するために専門基幹科目で学んだ土台を確かにし、各論的に幅を広げる

- 研究法科目：臨床心理の基礎となる研究方法を学ぶ科目
心理学研究法特論、データ分析法、臨床心理学研究法特論
- 基礎心理科目：臨床心理の基礎となる心理学科目
認知心理学特論、教育心理学特論、発達心理学特論
- 家族・社会心理科目：家族や社会の心理的問題を探求する科目
社会病理学特論、家族心理学特論、犯罪心理学特論(司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)
- 関連専門領域科目：臨床心理と深い関連を持つ専門分野の科目
精神医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開)、障害者(児)心理学特論(福祉分野に関する理論と支援の展開)、産業・労働分野に関する理論と支援の展開、児童福祉特論、高齢者福祉特論
- 専門技能科目：臨床心理の専門技能を深く学ぶ科目
教育分野に関する理論と支援の展開、グループ・アプローチ特論、家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践、投映法特論、心の健康教育に関する理論と実践、力動的心理療法特論、心理療法特論、心理臨床演習、医療心理学特論

※科目は全て2単位

研究指導科目 (必修4単位)

個々の研究課題に沿って、修士論文に収めるよう個別指導を行う

論文研究指導④

※○数字は単位数

≫ 修士生の研究テーマ (抜粋)

- レジリエンスがゆるし傾向性および罪悪感を介して主観的幸福感に及ぼす影響
- 在宅介護・看取りを行った家族の喪失体験の意味づけ
—在宅介護・看取りの経験が与える影響に着目して—
- ASD傾向、ADHD傾向を有する場合のストレス対処行動及び愛着スタイルが精神健康度に与える影響について
- ワーク・ライフ・バランスの観点から見たワーク・エンゲイジメント促進要因の検討
—仕事と家庭に関する価値観とコンフリクトに焦点を当てて—
- 大学生アスリートにおける受傷体験と反すうの関連性
- マインドフルネスが孤独感の低減に及ぼす効果
—孤独に対する捉え方に着目して—
- 芸術家の創造的退行と精神病理のありようについて
—生活史・芸術行為の意思に着目して—
- 自己志向的完全主義におけるセルフ・コンパッションと反すうの関連性について
- コンパニオン・アニマルが飼育者に及ぼす心理的影響の検討
- 大学生の恥意識についての研究
—対人恐怖性と回避的傾向、及び心理的自立との関連から—
- 入院森田療法患者の体験分析
- 精神疾患の親をもつ子どものリカバリーに関する研究
- 心理士の職業的発達に影響を及ぼす体験について
—自己変容との関連から—
- アタッチメントと長期恋愛経験からみる青年の自己愛的脆弱性と自尊心
—大学入学時からの変化に着目して—
- パーチャルペットの癒し効果の検討
—犬に対する愛着の強弱・飼育経験との関連—

Message



▶ 教員

小林 由佳 准教授

研究領域：職場のメンタルヘルス、キャリアカウンセリング、認知行動療法

臨床心理学専攻では、臨床心理学や精神医学を専門とし、第一線で活躍する教授陣が学生を指導しています。また、学内に設置された臨床心理相談室や学外の病院・クリニック、教育機関、企業など、さまざまな臨床現場での実習を用意し、公認心理師(国家資格)および臨床心理士の受験資格取得に必要な科目を開講しています。

本専攻では、これらの専門的・実践的な学習を通して、社会的ニーズに応えられる、心のケアの専門家の養成に取り組んでいます。多くの方々からの積極的なチャレンジを期待しています。



▶ 在学生

土肥 ほの花 さん

2025年度入学

私は現在、挫折体験の意味づけ過程が自我同一性の確立に与える影響について研究しています。本専攻の魅力は、講義と学内外での実習を通して理論と実践を往還しながら、臨床心理学の理解を深められる点にあります。また、専門職として求められる姿勢を実践的に学べる点も大きな特徴です。さらに、専門領域の異なる先生方から指導を受けることができ、多様な視点から研究を進められる環境が整っています。困った時は、同期や先輩、先生方に相談できる環境があり、安心して学修に取り組むことができます。皆さんと共に学べることを楽しみにしております。



▶ 修士生

生方 真志 さん

2018年度修士
家庭裁判所調査官

本専攻では、多様な実習に加えて、心理療法に挑戦する機会もあったので、机上の学びにとどまることなく、得た学びを実務にどのように活かすかを考えながら専門性を習得することができました。さらには、各先生方のご専門とされる領域が様々であることに加えて、研究室の垣根を超えたご指導を受けることができるため、多角的な視点から学術研究に取り組むことができました。このように、実務と学術の両輪で学びを深めることができた経験は、現職として働く上での基盤になっていると、今もなお実感しています。皆さんもぜひ、本専攻への進学をご検討してみてください。

人間福祉専攻

博士後期課程

Major in Social Policy, Community Development, Clinical Psychology

人間社会を構成する生活者の Well-being を実現するためには、これまで積み重ねられてきた社会福祉実践の展開に加えて、「心のケア」から「コミュニティマネジメント」までを含んだトータルな実践が必要とされています。こうした総合的な人間福祉を実現するための理論研究は、21世紀の福祉社会を展望する上で重要な課題といえるでしょう。人間福祉専攻は、修士課程の教育研究をさらに発展させ、地域社会を基盤に人間の「生」(Life)をトータルに捉え、新しい福祉社会の構築に関する研究者の養成をめざします。カリキュラムは、福祉・コミュニティ・臨床心理に関わる特殊研究・講義と人間福祉特別演習からなりますが、博士後期課程は科目を履修することが主目的ではなく、研究指導を受け博士論文をまとめることを目的としています。

≫ カリキュラム・ツリー (一部抜粋)

選択・必修科目 (8単位以上を選択)

各領域の重要かつ先端的な研究動向について学ぶ

福祉政策系特殊講義Ⅰ	地域・政策系特殊講義Ⅰ	臨床心理系(心理・地域)特殊講義Ⅰ
福祉政策系特殊講義Ⅱ	地域・政策系特殊講義Ⅱ	臨床心理系(心理・地域)特殊講義Ⅱ
福祉社会系特殊講義Ⅰ	地域・文化系特殊講義Ⅰ	臨床心理系(病理・発達)特殊講義Ⅰ
福祉社会系特殊講義Ⅱ	地域・文化系特殊講義Ⅱ	臨床心理系(病理・発達)特殊講義Ⅱ
福祉臨床系特殊講義Ⅰ		
福祉臨床系特殊講義Ⅱ		

※各科目すべて2単位

必修科目

個々の研究課題に沿って、修士論文に収斂するよう個別指導を行う

人間福祉特別演習Ⅰ
人間福祉特別演習Ⅱ
人間福祉特別演習Ⅲ

※各科目すべて4単位

≫ 修了生の研究テーマ (抜粋)

- 自然科学的人間観に着目した臨床心理サイコロジストの実践性と科学性の関連
- Obsessive-Compulsive Disorder in Adults with Autism Spectrum Disorders Comorbidity: Examining Neuropsychological Features
- 構造拘束的な体験様式と心理的距離に関する研究
- 自閉スペクトラム症の大学生・大学院生のレジリエンスに関する研究
- 準市場理論による介護保険制度の研究 —利用者の選択性がサービスの質の向上に与える影響について—
- 日本における国民皆年金体制の変遷 行政事務の変化に着目した分析
- 障害のある人の表現活動における多面的効果モデルの形成 —生活介護事業所をフィールドとして—
- 小地域を基盤とした高齢者の社会参加活動を促進するソーシャル・キャピタルの形成に関する実証的研究
- 居住に困難を抱える単身高齢者の居住支援におけるコミュニティソーシャルワークの意義と機能
- 高齢者夫婦間介護のリスクに関する研究 —その構成要因と支援の方法について—

Message



▶ 教員

佐野 竜平 教授

研究領域：
アジアの障害インクルーシブ
な国際協力・開発、循環型経
済、障害者の暗黙知、障害者権
利条約



▶ 在学生

根橋 妙恵 さん

2024年度入学



▶ 修了生

御澤 晴人 さん

2023年度修了
日本年金機構

社会福祉、コミュニティ・マネジメント、臨床心理の観点を網羅しつつ、「Well-being」のあり方を徹底的に追い求めようというのが本専攻の特色です。社会課題に対する「問い」を学術的な観点から設定し、論文執筆を通じてその答えを見出していくプロセスは、まさに今日必要とされる新たな発想の創出につながるものです。ユニークな背景を持つ教員が揃っており、手厚い学びの機会が得られるようにデザインされています。流行りの言葉や表面上の答えではない、社会課題の解決に向けた手立ての本質を見出していく力を、当専攻での研究を通じて育んでみませんか。

私は、うつ病における認知バイアスの情報処理メカニズムと、その効果的な介入法に関する研究を行っています。本学には多様な専門分野の先生方や学生が在籍しており、私自身、基礎心理学としての認知心理学の視点と、臨床心理学の応用的な要素を統合した研究に取り組んでいます。指導教員をはじめ、多くの先生方からの確なご指導をいただけることに加え、事務課の皆様の温かい支えもあり、恵まれた環境で研究を進めることができます。多角的な視点から学問を探究し、実践への応用や地域社会への貢献を目指したい方にとって、挑戦しがいのある場だと思います。

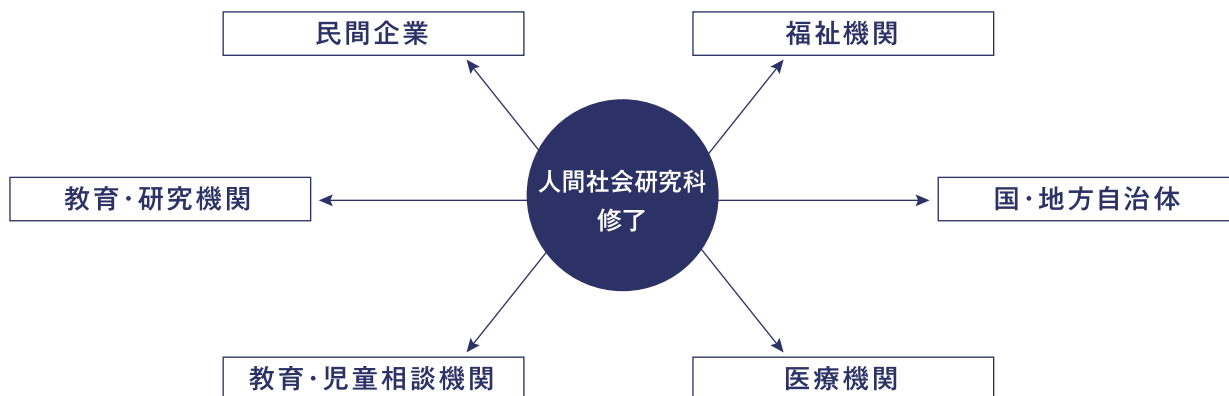
まちづくりを学ぶため本専攻の修士課程を修了し現職に就きましたが、実務と研究のあいだに隔たりを感じ、自分なりの答えを探求するため、修士課程とは異なる社会保障領域の実務研究者として再び博士課程で学ぶ道を選びました。年金制度はマクロ研究が中心で実務視点の研究は少なく苦労しましたが、指導教員の丁寧なご指導により、「人間福祉」が実務と先行研究の補助線となり、自分らしい博士論文を執筆することができました。本専攻は実務の現場で見落としがちな視点を多角的に再構成し、新たな発想へとつなげられる学びの場として強くお勧めします。

修了者の進路

修了した方々は大学院での豊かな経験を活かし、様々な進路をとっています。

また、働きながら研究活動を行い、研究の成果を業務に活かされている方もいます。近年の主な進路先をまとめました。

大学院での研究活動を活かして未来の道を拓きませんか？



修了後の進路

福祉社会専攻 ◎修士課程（2019年度以降修了者）

- | | |
|------------------|-------------------------|
| ・福祉医療機関 …………… 6名 | ・民間企業 …………… 10名 |
| ・公務員 …………… 3名 | ・進学（博士後期課程ほか） …………… 2名 |
| ・その他 …………… 7名 | ・社会人入学で修了後も在職 …………… 10名 |

臨床心理学専攻 ◎修士課程（2019年度以降修了者）

「公認心理師」資格取得者 2018～2025年度修了生 103名受験 96名合格
「臨床心理士」資格取得者 2004～2024年度修了生 286名受験 268名合格

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・医療領域（病院やクリニックなど）…………… 30名 ・産業領域（企業内のカウンセリングや外部EAPなど）…………… 3名 ・司法領域（家庭裁判所や少年院、少年鑑別所など）…………… 3名 ・その他 …………… 8名 <p>※上記の内、公務員は40名</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・教育領域（スクールカウンセラーや学生相談室など）… 25名 ・福祉領域（児童相談所や障害者福祉施設など） 30名 ・進学（博士後期課程ほか） …………… 3名 |
|--|--|

人間福祉専攻 (学位取得者43名) ◎博士後期課程（2003年度以降修了者）

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・私立大学教員 …………… 19名 ・国公立大学教員 …………… 2名 ・私立大学研究員 …………… 4名 ・独立行政法人研究員 …………… 1名 ・医療機関（福祉職） …………… 1名 | <ul style="list-style-type: none"> ・教員 …………… 1名 ・公務員 …………… 5名 ・団体職員 …………… 3名 ・その他 …………… 4名 <p>※継続在職も含む</p> |
|---|--|

キャンパス紹介

◀ 臨床心理学専攻の学生が公認心理師・臨床心理士をめざし実習を行う施設です。面接室2つ、プレイセラピー室3つ、グループ療法室1つを備えた充実した環境で、公認心理師・臨床心理士の資格を持ったカウンセラーによる指導が行われます。

大学院は、もっと学びやすくなります！

法政大学大学院では、より幅広い優秀な人材を受け入れるための学生支援策として、奨学金制度やティーチングアシスタント(TA)制度、リサーチアシスタント(RA)制度を充実させ、経済面からも大学院での研究活動を支援しています。

福祉社会専攻および臨床心理学専攻は、本学を含めた10大学から成り立つ首都大学院コンソーシアムに加盟し、さらに福祉社会専攻は、本学を含めた13大学から成り立つ大学院社会福祉学専攻課程協議会に加盟しているなど、他大学院での科目を履修できる単位互換制度を設けています。

首都大学院 コンソーシアム

順天堂大学大学院、専修大学大学院、中央大学大学院、東京電機大学大学院、東京理科大学大学院、東洋大学大学院、日本大学大学院、明治大学大学院、共立女子大学大学院

大学院社会福祉学専攻課程協議会協定校

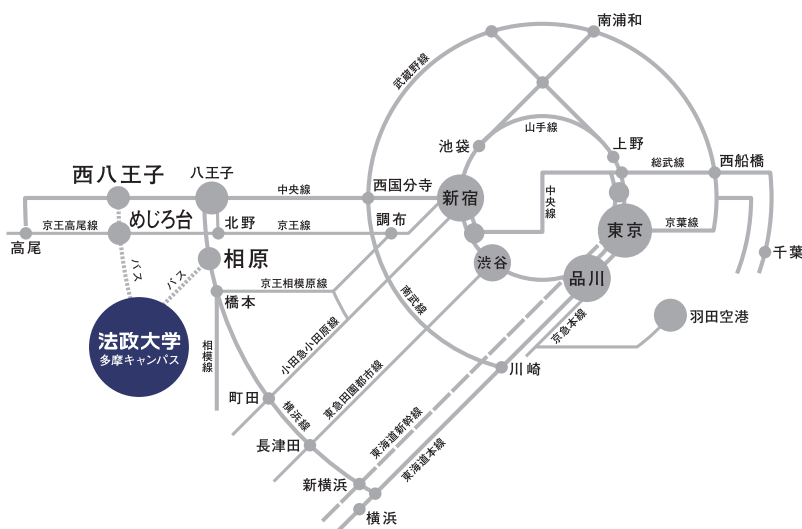
上智大学大学院、明治学院大学大学院、日本女子大学大学院、東洋大学大学院、淑徳大学大学院、日本社会事業大学大学院、大正大学大学院、立正大学大学院、関東学院大学大学院、立教大学大学院、日本大学大学院

≫ 入試日程および選抜方法 [※詳細は入学試験要項にてご確認ください]

専攻	募集定員	入試経路	出願期間	筆記試験日	口述試験日	最終合格発表	選抜方法
福祉社会	15名	一般 秋季 社会人 外国人留学生	2026年 8月21日(金)～8月28日(金)	9月20日(日)	9月20日(日)	10月 2日(金)	一般 ▶ 筆記試験(英語・専門科目)および口述試験(面接) ※英語は英和・英英辞典持込参照可 社会人 ▶ 筆記試験(専門科目)および口述試験(面接)
		一般 社会人					外国人留学生 ▶ 筆記試験(専門科目)および口述試験(面接) ※筆記・口述試験とも日本語による 研修生 ▶ 筆記試験(専門科目)および口述試験(面接) ※筆記・口述試験とも日本語による
		外国人留学生 研修生 (留学生含む)	2027年 1月13日(水)～1月20日(水)	2月20日(土)	2月20日(土)	2月25日(木)	
臨床心理学	15名	一般 秋季	2026年 8月21日(金)～8月28日(金)	9月20日(日)	9月23日(水)	10月 2日(金)	第一次審査 ▶ 筆記試験(専門基礎・専門論述・英語) ※英語は英和辞典のみ持込参照可 第二次審査 ▶ 口述試験(面接)〔筆記試験合格者のみ〕
		一般 春季	2027年 1月13日(水)～1月20日(水)	2月20日(土)	2月23日(火)	2月25日(木)	
人間福祉	5名	一般 春季	2027年 1月13日(水)～1月20日(水)	2月20日(土)	2月20日(土)	2月25日(木)	筆記試験(英語)および口述試験(面接)

≫ 進学相談会日程 各専攻の教育内容の説明・教員による個別面談

2026年度の実施につきましては、原則WEBによる情報発信を行い、大学施設にご来場いただく形式では実施しません。
詳細は以下の法政大学大学院ホームページよりご確認ください。



JR中央線 新宿駅から快速で54分(特別快速で42分)、西八王子駅下車
バス約22分(「法政大学」下車)

JR横浜線 新横浜駅から38分、相原駅下車
バス約13分(「法政大学」下車)

京王線 新宿駅から準特急で40分(急行50分)、めじろ台駅下車、
バス約10分(「法政大学」下車)

法政大学大学院 人間社会研究科

〒194-0298 東京都町田市相原町 4342
TEL.042-783-4093 / FAX.042-783-2808
E-mail: fukushi@hosei.ac.jp



資料請求はこちらへアクセス

